

医者のいじめに負けるな / 高齢ドライバーの心得

週刊朝日

「ヘルシー」に
だまされるな!

シリアル、スムージー
低脂肪ヨーグルト
果汁100%ジュース…

社長の早慶戦

小池都知事の切り札はカジノ

トランプは日本を見放す

12・2

380円

問宮祥太郎

和田裕美



『ママの人生』

ホブラ社 1400円

撮影 植田真紗美

わだ・ひろみ＝京都府出身。外資系教育会社で営業職として働き、2003年、『世界No.2 セールスウーマンの「売れる営業」に変わる本』でデビュー。20万部のベストセラーとなる。著書は50冊以上。『ママの人生』は自身初の小説。

いいだけではすまされない、泥臭い、えげつない、裏切りも失敗もある。だからこそ清さや潔さ、優しさが心に響く」と話し、好きな小説家として角田光代さんの名前を挙げる。

「角田さんの書かれる物語から感じられる、一作一作に込める、裸で勝負している感覚」が好きです。フィクションであっても、あり得たかもしれない人生をリアルに描いている。自分の小説も担当編集者とやり取りを繰り返しながら、実感がこもった描写や会話になるように努めました」

自分の人生を自分の思うまま、言い訳もせず、他人や時代のせいにもしない。そんな生き方を母が示してくれたことに「ありがとう」という気持ちでいる。「ちょっと息苦しいな、しんどいな」と感じている、例えば他人の目、他人からの評価、世間の意見に縛られている人たちが、この小説を読み、自由に生きた母の存在を感じて、自分とは違

う人の生き方を受け入れることができたなら、もっと自由になれるのでは。そう願っています」

この小説の帯には女優の高島礼子さん、タレントで映画監督の板尾創路さんが推薦文を書いている。「もう、感謝しかありません。このお二人に推薦文を書いていただきたくて、何の面識もなかったのですが、手紙を書いてお願いしました。いただいた言葉を見て、本当に涙が出ました」

著者の講演会は全国各地から引き合いがあり、毎回盛況だという。これまでに著した本の感想を話してくれる参加者も多い。

「私のことを知らない方にも読んでいただきたい。当たり前だと思っている日常の在り方、価値観が少し変わっていくきっかけになるような出会いになればうれしいです」

ビジネス書、手帳の企画講演に続き、小説というフィールドでもファンを増やそうだ。

相原 透

母をモデルにしたこの小説は『こころのヌード写真集』です

女性ビジネス作家の先駆けで、現在も執筆に講演にと多忙な毎日を送る。「ママの人生」は、ミニスカートに栗色の髪で、スナック「シャレード」のママとして働き、いつも恋に忙しい、自身の「母」を描いた小説デビュー作である。

「最も影響を受けた人物は誰ですかと聞かれた時、ビジネス界の偉人でも、有名人もなく、私は母と答えました。母に多大な影響を受けた自分があることをいつも感じます」

いわゆる優等生の母親ではなく、田舎のスナックで

ら現在までの「わたし」の人生が交錯していく。

「母は真っ直ぐに自由に生きていたからこそ、他人に寛容でした。他人の悪口は言わない、否定しない、羨ましがらない。その寛容さと自立心は明確でした」

和田さんは、この小説は『こころのヌード写真集』のようだと言う。

「生きていくことは、格好